

～命運をわける年!! 戦い方のポイントとは!!～

# 2020年は、まず慶次で頑張ろう!!

グローバルアミューズメント株式会社  
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。  
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。現在、ホール&メーカー双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。



皆様、こんにちは!! グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。2020年もよろしくお願ひ申し上げます。2020年は“生き残りをかけて戦う年”になりますので、特に“業績アップのポイント”について、精力的に発信していきたいと考えております。新年一発目は、2020年の最重要課題の1つ、「慶次蓮の取り組み強化」について考察記事をお伝えしたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

## ■2020年前半戦の“慶次ブーム”を追い風にできた店が安定感のあるホール運営を実現できる。

2020年は2月に登場する「P花の慶次～蓮～」をしっかりと育成できたホールが、業績安定のパスポートを得ることができると考えています。

ホールは、全体傾向として、

### 「年前半は様子見、年後半に施策をやりたがる」

雰囲気は凄くあります。2020年に関しては特に撤去対応に対する不安感から、前半の様子見したがるような印象を受けています。これは完全に間違いです。特に、2月の「P花の慶次～蓮～」は全力で頑張ってもらいたいと考えています。市場環境を考えると

非常に重要なポイントになると考えています。その理由について解説いたします。

## 理由①:2020年前半で完全に“パチンコ中心の営業スタイル”に切り替わる。その流れを加速させるのが慶次。

正月商戦において、20円パチスロ部門の売上減を実感されたホールが多いと思いますが、そんなのは序の口です。20円パチスロの停滞感はおそらく、1月14日週から大きく実感する形になるでしょう。今後は「パチンコ部門で業績を伸ばせる店」でないと業績の安定感を得ることができません。この2月～春先、慶次蓮の登場にあわせて「パチンコメイン、パチスロメインの両方のお客様」を集客する試みに着手することは客数安定の必須要件だと考えます。5号機初期に“初代慶次が実現した流れ”をもう一度再現できるか?という点が春先までの最注目ポイントだと考えています。

## 理由②:内規変更対応で3-4月の大型機が品薄となる

### 可能性が大!! 前半戦は慶次で駆け抜ける流れになりそう。

昨年末に決定した“内規変更”も慶次蓮にとって、追い風になると考えます。内規変更(天井時短、時短上限撤廃など)対応により、2020年前半に登場予定であった大型機の幾つかが、投入スケジュールが変更となり、3-4月が当初計画よりかなり「大型機不足」となる流れになってきました。G.Wまでは「慶次の独壇場」になりそうです。2月、導入当初にしっかりと育成し、客数が安定している状態でG.W商戦を過ごせるような体制づくりが理想的と考えています。

## 理由③:前半戦に“新規則定番固定コーナー”作りに時間をかけて着手できる機械が他にない!!

G.W明けから後半にかけては、大型機種が2～3ヶ月おきに登場すると想定します。年中盤から入替のバタバタ感が増してきて、じっくりと固定コーナー作りに着手できる環境ではなくなると考えます。後半戦に向けて「どの程度、新規則慶次を固定コーナーとして残せるか?」は超重要。2020年唯一、じっくりと育成できる新規則定番機だと考えています。2020年を乗り切る最重要課題です。皆様、しっかりと取り組みましょう!! 2020年は死に物狂いで頑張る年!! 最後までお読み頂きありがとうございました!!